

調査用 生きものガイド

中級編：水辺と草地



はじめに

福岡県の山や川、草原、田畑、海、干潟ひがたといった豊かな自然ゆたの中には、さまざまな生きものが暮くらしています。

ふくおか生きもの見つけ隊の中級編へん～水辺と草地～では、水田や水路などの水辺で見られるガマ、サギ、カエルや、公園や畑などの草地で見られるカラスウリ、カマキリの仲間たちを探して、じっくり観察することがミッションです！

これらの生きものの仲間には、いろいろな種類があり、色や大きさ、鳴き声な、暮らし方にちがいがあることを知っていますか？

さあ、この「生きものガイド」を手に水辺や草地に出かけていって、ガマやカラスウリ、サギ、カエル、カマキリの仲間たちの種類を調べてみよう！そして、見つけた生きものの情報ほうこくを報告して、隊員同士で情報こうかんを交換してみよう！



目次

- はじめに・目次 1
- 『ふくおか生きもの見つけ隊』の参加方法 2
- 水辺や草地くに暮らす生きものたち 3
- 水辺や草地での観察のコツ 5
- 観察で気をつけること 6
- 生きものずかんの図鑑—水辺や草地の生きものを見比べてみよう—
 - ガマの仲間 7
 - カラスウリの仲間 9
 - サギの仲間 12
 - カエルの仲間 16
 - カマキリの仲間 22
- 観察メモ 26

『ふくおか生きもの見つけ隊』 の参加方法

● ステップ1：『いきものログ』へユーザ登録しよう

『いきものログ』のホームページ <http://ikilog.biodic.go.jp/>でユーザ登録をしよう。登録方法は郵送した「いきものログの使い方」を見てください。



* 15才以下の登録には保護者の同意が必要です

● ステップ2：結果を報告する 生きもの^{ほこく}のことを予習しよう

7～25ページの生きもの^{ずかん}の図鑑^{そつぞう}を読んで、探したい生きものがどんな場所にいるのか想像してみよう。いつ、どこに行くと、何が見つけられそうですか？



● ステップ3：生きもの^{くら}を観察して見比べよう

さあ、水辺や草地に出かけていろいろな生きものを探してみよう！ガマ・カラスウリ・サギ・カエル・カマキリの仲間を見つけたら、体をじっくり観察して、種類を調べてみましょう。観察のコツや観察で気をつけることなどは、5～6ページを見てください。



● ステップ4：観察結果^{ほこく}を報告しよう

ガイドに載っている生きもの^ののうち、報告対象^{ほこく}の生きもの^{ほこく}を見つけたら、『いきものログ』に結果を報告しよう。報告方法は、『いきものログ』のマニュアルや初級編ガイドの21ページを見てください。



● ステップ5：県内の隊員^{へん}の観察結果を見よう

県内のどこにどんな生きものがあるのか、他の隊員^{へん}の観察結果を見よう！結果を見る方法については、初級編ガイドの21ページを見てください。



水辺や草地に暮^く

カエルの仲間

カエルは水辺を代表する動物。田畑の害虫を食べてくれる、人の生活に身近な生きものです。福岡県には11種類のカエルが生息しています。まわりには何種類のカエルがいるのかな？

【報告する種類】

- ・ニホンアマガエル
- ・ヌマガエル
- ・シュレーゲルアオガエル
- ・ツチガエル
- ・トノサマガエル
- ・ウシガエル^{へん}
- ・ニホンヒキガエル
- (初級編)



サギの仲間

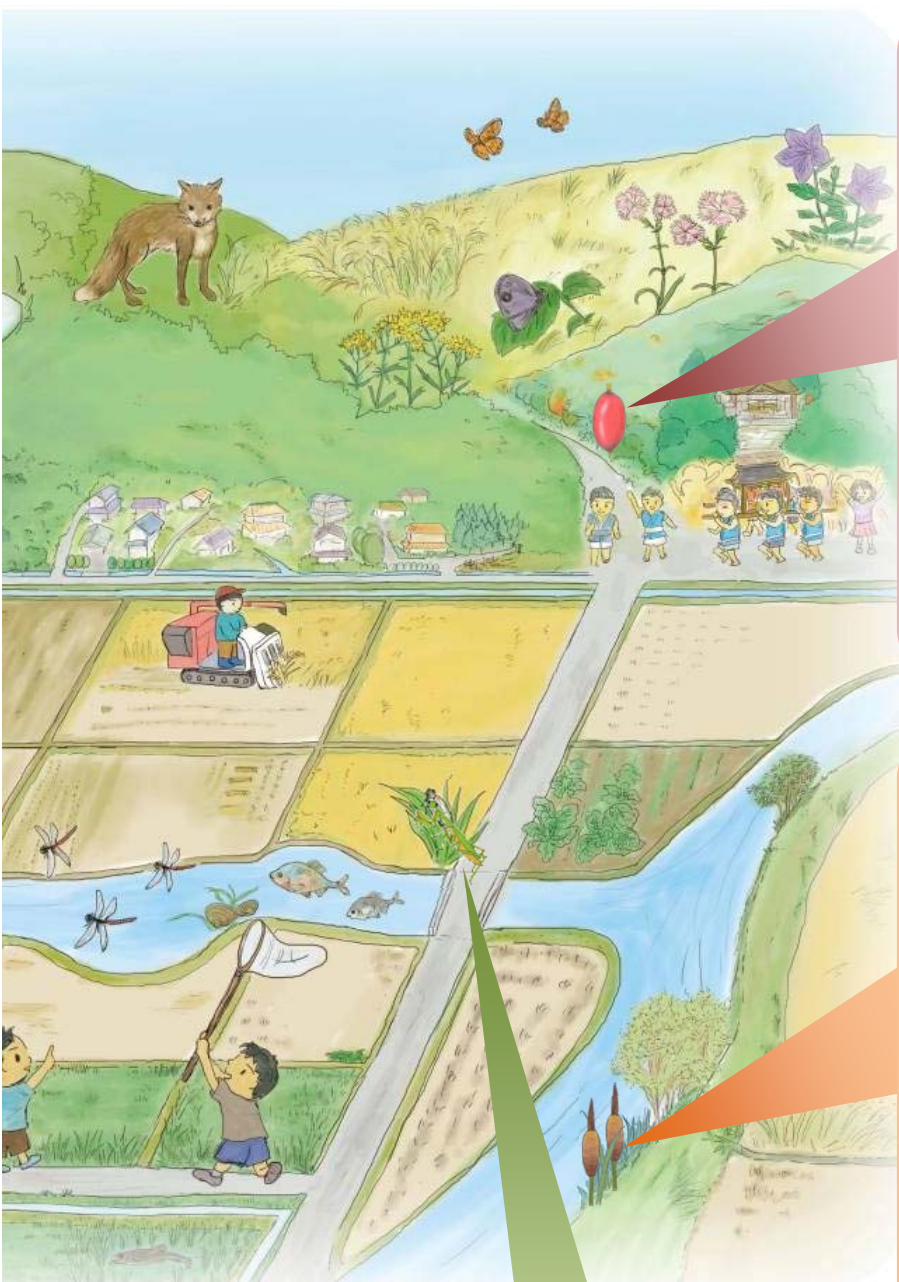
水辺やそのまわりで、魚やザリガニなどのエサをジーツとねらう姿が目立つ、首が長い鳥。名前は聞いたことのある人が多いかもしれませんが、サギにいくつもの種類がいることは知っていますか？

【報告する種類】

- ・アマサギ
- ・アオサギ
- ・ダイサギ
- ・ゴイサギ
- ・コサギ
- ・ササゴイ

雨が多い日本には、水田や水路があり、そのまわりや公園などの草花が咲きほこります。このような食べる昆虫、それを食べる魚やカ^{ゆた}る鳥など、豊かな生態系^{せいたいけい}が育まれ水辺や草地に暮らす生きものを探し^くいや住んでいる環境のちがいなど

らす生きものたち



カラスウリの仲間

草地や開けた森林で、赤や黄色に色づいた大きな実を見たことはありませんか？ 県内に生育する3種類のカラスウリの花や実をじっくり観察してみよう。

【報告する種類】

- ・カラスウリ
- ・キカラスウリ
- ・モミジカラスウリ

ガマの仲間

夏になると、ソーセージのような花をつける水辺を代表する植物。ガマが生える水辺は、生きものがとても豊かです。川や水路、ため池などを探してみよう！

【報告する種類】

- ・ガマ
- ・コガマ
- ・ヒメガマ

カマキリの仲間

だれもが一度は見聞きしたことがある肉食の昆虫。県内には7種類のカマキリが生息しています。どこにいて、何を食べているのかな？ じっくり観察してみよう！

【報告する種類】

- ・オオカマキリ
- ・チョウセンカマキリ
- ・ハラビロカマキリ
- ・コカマキリ

どたくさんの水辺
草地には、様々な
場所には、植物を
エル、それを食べ
ています。そんな
で、体の形のちが
を発見してみよう！

水辺や草地での観察のコツ

● 生きものを見つけるコツ

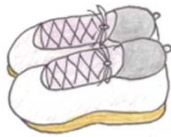
見たい生きものを「見つけるコツ」は、体の特徴などをよく知って、その生きものが見られる時期に、その生きものが好みそうな場所に出かけることです。3つのガイドを参考に、見たい生きものが“いつ”“どこ”にいそうか、予習をしましょう。

『生きものログ』の「種の説明」にも詳しい解説があるので、参考にしてください。

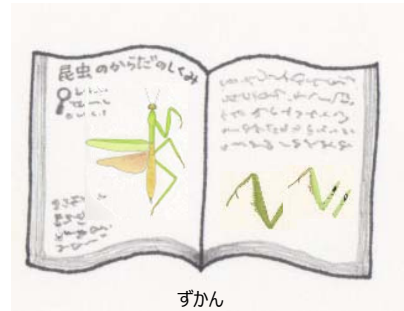
● 生きものの観察に役立つもの



すべりにくいクツ



虫めがね



ずかん
図鑑

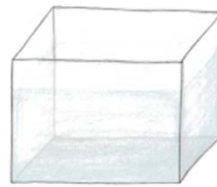
100円ショップでも買えます



バケツ



虫かご



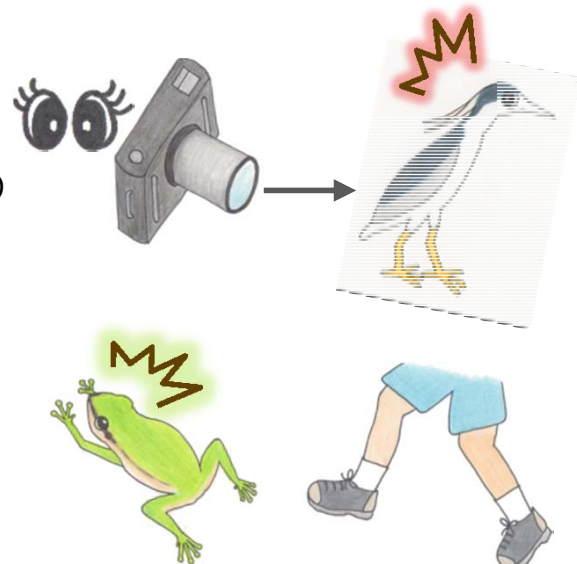
とうめい
透明のプラスチックケース



あみ

● 生きものが嫌がる距離を知ろう

ほとんどの野生動物は、人間をこわがります。そのため、近づきすぎると、逃げまわったり、警戒してエサを食べられなくなったり、子育てをやめてしまったりします。動物の種類によって嫌がる距離がちがうので、嫌がらない距離を保って観察をしましょう。



観察で気をつけること

楽しく安全に生きもの観察をするためには、いくつか気をつけなければいけないことがあります。以下の注意事項をよく読んでから観察に行きましょう！

* 調査中にケガや事故などにあっても、県ではお世話することができません

- **小さな子どもは大人と一緒に出かけましょう**
- **近くに出かける時も、お家の人に行き先を伝えましょう**
- **水辺はケガや事故が起こりやすい場所なので、以下の場所には近づかないようにしましょう**

- ・流れが速い川や水路
- ・ヒザよりも水深が深いところ
- ・立ち入り禁止の看板があるところ
- ・コンクリートや石にコケが生えているところ
(とてもすべりやすい)



● 危険な生きものもいるので気をつける

- ・ヘビがいるかもしれないので、いきなり草むらに入らない
- ・ハチが近づいてきたら、戦わずに静かに後ずさりする
- ・虫刺されやケガを防ぐため、長そで・長ズボンを着て帽子をかぶる

【危険な生きものの例】



ハチ



毛虫



毒ヘビ



マダニ

- **熱中症を防ぐため、こまめに水分をとる**
- **持ち主がいる土地には許可をもらってから入る**
- **生きものを持って帰らない**



ガマの仲間

イネ目 ガマ科 Typhaceae

● ガマあれこれ雑学^{ざつがく}

① ガマの花粉は薬になる

ガマの黄色い花粉には血を止める成分が入っていて、やけどや切り傷^{きず}の薬として、昔から人々に使われてきました。712年に書かれた『古事記^{こじき}』の中の「いなばの白うさぎ」伝説では、神様からの助言で、白うさぎが背中^{せなか}のケガにガマの花粉をつけて傷^{きず}を治したと言われています。とても古い時代からよく知られている薬だったんですね！



いなばの白うさぎ

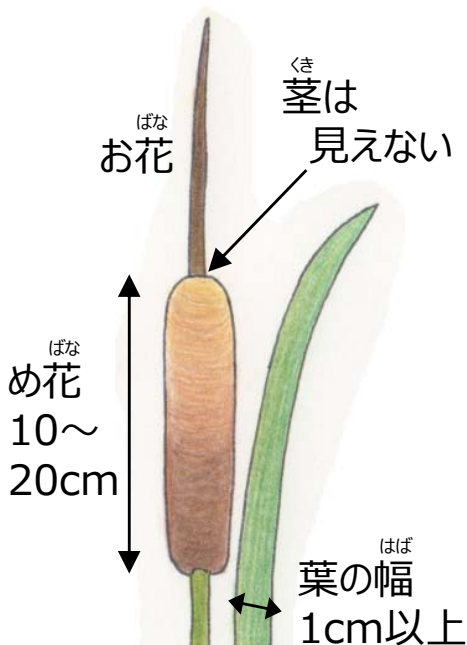
② かまぼこの語源^{ごげん}

かつてのかまぼこは、魚のすり身を細い竹にぬりつけて焼いていました。それがガマの穂^ほの形^にに似ていたため、『蒲穂子(がまほこ)』と呼ばれたのが、名前の由来です。

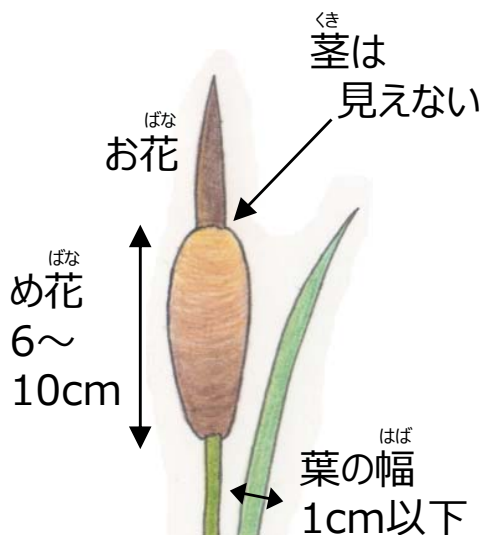


昔のかまぼこの再現

● ガマの種類しらべ

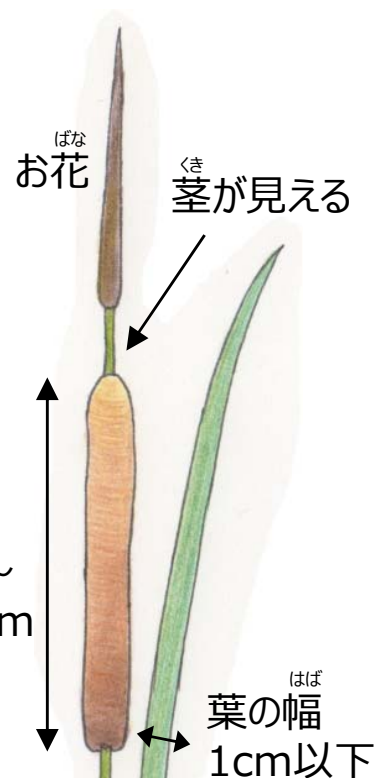


☆ガマ



☆コガマ

(くわしいことは8ページへ)



☆ヒメガマ

ガマ

蒲 *Typha latifolia* ガマ科ガマ属

花 : 6~8月に20~30cmほどの花の穂^ほをつける。
め花^{めばな}は長さ10~20cmくらいで、お花^{おばな}とくつつく。

葉 : 高さ1.5~2mになる大型の草。
葉は線形で長さ1~2mくらい。
幅^{はば}は1~2cmほどで太くて長い。

場所 : 川や水路、池のほとりなど、湿^{しめ}った場所に生える。
花^さが咲かないと、目立たず見分けがむずかしい。



コガマ

小蒲 *Typha orientalis* ガマ科ガマ属

花 : 7~8月に10~20cmほどの花の穂^ほをつける。
め花^{めばな}は長さ6~10cmくらいで、お花^{おばな}とくつつく。

葉 : 高さ1~1.5mになる中型の草で、ガマより小さい。
葉は線形で長さ50~70cmくらい。
幅^{はば}は1cm以下でガマより細い。

場所 : 小さな池のほとりや湿^{しつち}地、休耕田^{きゅうこうでん}などに生える。
花^さが咲かないと、目立たず見分けがむずかしい。



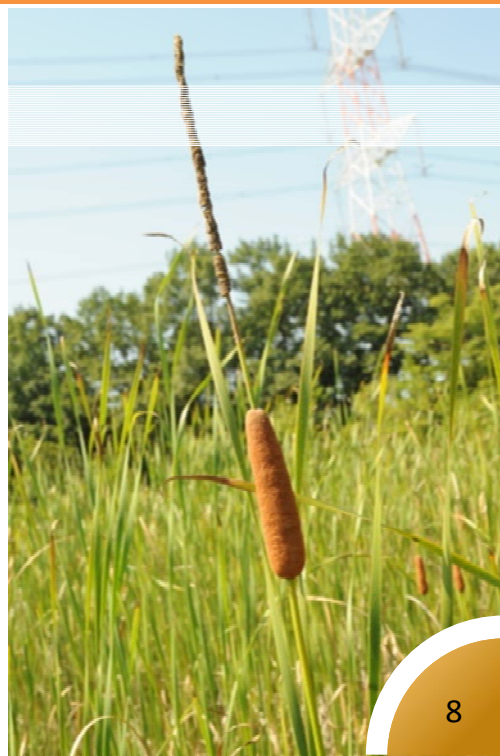
ヒメガマ

姫蒲 *Typha domingensis* ガマ科ガマ属

花 : 6~8月に20~50cmほどの花の穂^ほをつける。
め花^{めばな}は長さ10~20cmで、お花^{おばな}とくつつかない。
お花^{おばな}は長さ10~30cmで、め花^{めばな}より長いことが多い。

葉 : 高さ1.5~2mになる大型の草。
葉は線形で長さ1~1.5mくらい、幅^{はば}は1cm以下。

場所 : 川や水路、池のほとりなど、湿^{しめ}った場所に生える。
花^さが咲かないと、目立たず見分けがむずかしい。



カラスウリの仲間

ウリ目 ウリ科 Cucurbitaceae

● カラスウリのあれこれ雑学^{ざつがく}

①ウリってなに？

ウリ科植物の果のことをウリといい、つると^ま巻きひげを持っているのが特徴^{とくちょう}です。丸い実、細長い実、とげがある実など、いろいろな形があります。私たちが食べるスイカ、メロン、キュウリ、カボチャなどもウリ科植物です。

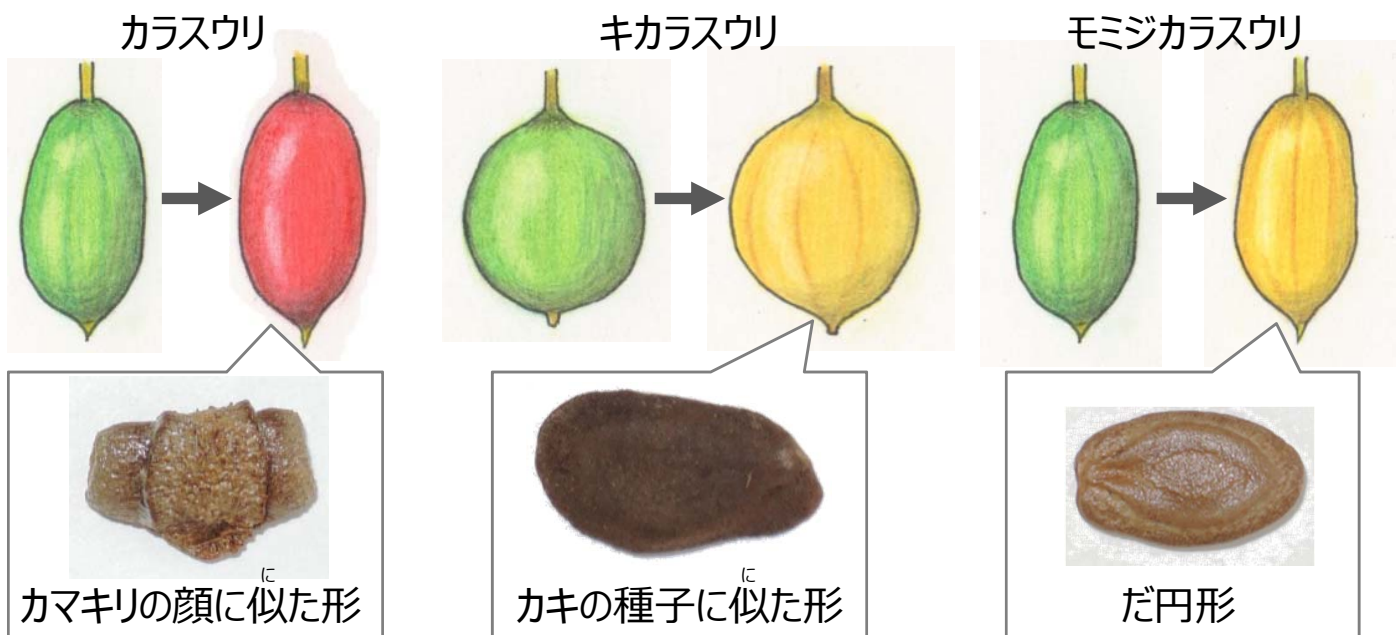


②キカラスウリの根はアセモを防ぐ^{ふせ}

キカラスウリの根を粉にしたものを『天瓜粉^{てんかふん}』といいます。この粉は、近年で言うベビーパウダーとして、夏のアセモ^{ふせ}を防ぐために使われてきました。

③カラスウリの実の不思議

カラスウリの実^{じゆく}は、熟すと色が変わります。
また、3種のカラスウリは種子の形がちがいます。観察してみるとおもしろいよ！



カラスウリの種子は、形が『打ち出の小づち』や『大黒様の顔』に似ているため、お金をよぶ縁起物として知られています。サイフに入れるとお金がたまるかも！？

● **種類しらべスタート!** (☆は報告対象です)

花びらの先の形は？

いとじょう
糸状にのびる



ふつう
普通にとがる



他のウリの仲間

- スズメウリ
- ゴキヅル
- キュウリ など



ゴキヅルの花と実

花や茎くきに毛はある？

たくさんある
(ザラザラ)



ほとんどない
(スベスベ)



キュウリの花

☆ **カラスウリ**
(11ページへ)

葉は深く切れこむか？

はい



いいえ



☆ **モミジカラスウリ**
(11ページへ)

☆ **キカラスウリ**
(11ページへ)

カラスウリ

烏瓜 *Trichosanthes cucumeroides* ウリ科カラスウリ属

花と実：7～9月の夜にだけ白い花が咲く。
花は甘いにおいがする。
10月ころから、だ円形の実が赤く熟し始める。

葉：長さ・幅ともに6～10cmほど。
3～5つに浅くさけ、毛が多い。

場所：平地のやぶなどに生える。
草や低木にからみついて成長する。



キカラスウリ

黄烏瓜 *Trichosanthes kirilowii* var. *japonica* ウリ科カラスウリ属

花と実：7～9月の夜から朝に白い花が咲く。
9月ころから、球形～だ円形の実が黄色く熟し始める。

葉：長さ・幅ともに6～10cmほど。
3～5つに浅くさけ、毛はほとんどない。

場所：平地のやぶなどに生える。
草や低木にからみついて成長する。



モミジカラスウリ

紅葉烏瓜 *Trichosanthes multiloba* ウリ科カラスウリ属

花と実：6～8月の夜から朝に白い花が咲く。
9月ころから、だ円形の実が黄色く熟し始める。

葉：長さ・幅ともに6～10cmほど。
モミジのように5～9つに深く切れこむ。

場所：山地の日当たりが良い場所に生える。
草や低木にからみついて成長する。



サギの仲間

ペリカン目 サギ科 Ardeidae

サギあれこれ雑学^{ざつがく}

① サギの飛び方

サギの仲間は、飛ぶときに長い首を折り曲げます。このような飛び方をするのは、鳥の中でもサギとペリカンの仲間だけです。

長い首を曲げて飛ぶ



サギ・ペリカンの仲間

長い首をまっすぐにして飛ぶ



ヘラサギ・ウ・ツルなど

首は短い



その他の鳥

② サギはみんな仲良し!? 集団で子育て^{しゅうだん}

サギの仲間は、右の写真のように、種のちがいをこえて^{しゅうだん}集団で子育てをします。このような場所を『サギ山』や『サギのコロニー』などと呼びますが、たまにはケンカなどしないのでしょうか？^{かせんじき}河川敷や川の近くの森林に目をやると、仲良く子育てする様子が見られるかもしれません。



サギのコロニー（白い点は全てサギ）

③ 夏と冬で変わるくちばしの色

鳥の中には、季節によってくちばしの色が変わる種がいます。例えば、ダイサギのくちばしは冬は黄色ですが、夏には黒くなります。くちばしの骨^{ほね}は丈夫な皮膚^{ひふ}でおおわれていて、その色が季節によって変わるためです。これは、体が子育て^{じょうたい}できる状態^{やくわり}になったかどうかを、伝える役割があります。

ダイサギのくちばし



種類しらべスタート! ほこく (☆は報告対象です)

体の色 (くちばしと足以外) は?



☆アマサギ
(14ページへ)
*冬はいない
*くちばしは
オレンジ色

首は細長い?



体の全体の色は?



☆ゴイサギ
(15ページへ)
*目は赤色

☆ササゴイ
(15ページへ)
*目は黄色

☆アオサギ (15ページへ)

「体の大きさ+指の色」の組合せは?

体が大きい
+



☆ダイサギ
(14ページへ)

体は中くらい
+



●チュウサギ
*冬はいない

体が小さい
+



☆コサギ
(14ページへ)

アマサギ

猩々鷺 *Bubulcus ibis*

大きさ：全長50cmくらい。
日本の白いサギの中で体が一番小さい。

体の色：頭、首、背中^{せなか}がオレンジ色。
その他の羽は白色。
くちばしはオレンジ色で、足は全体がはだ色。

習性^{しゅうせい}：4～10月ころを日本で過^すごし子育てをする夏鳥。
水田や草地などで、バッタなどの昆虫^{こんちゅう}を食べる。



ダイサギ

大鷺 *Ardea alba*

大きさ：全長90～100cmくらい。
日本のサギの中で体が一番大きい。

体の色：体の羽は全て白色。
くちばしは夏が黒色で、冬が黄色。
足は全体が黒色。

習性^{しゅうせい}：日本には一年中いる。
川や池、水田などで魚やザリガニなどを食べる。



コサギ

小鷺 *Egretta garzetta*

大きさ：全長60cmくらい。

体の色：体の羽は全て白色。
くちばしは一年中 黒色。
足は指だけ鮮やかな黄色^{あざ}で、他は黒色。

習性^{しゅうせい}：日本には一年中いる。
川や水田などで魚やカエル、昆虫^{こんちゅう}などを食べる。



アオサギ

蒼鷺 *Ardea cinerea*

大きさ：全長90cmくらい。
ダイサギと同じくらい体が大きい。

体の色：後頭部、^{わき}脇、^{つばさ}翼の先が青みがかった黒色。
その他の^{つばさ}翼の羽は^{はい}うすい灰色
くちばしは黄～オレンジ色で、足ははだ色。

^{しゅうせい}習性：日本には一年中いる。
川や池、水田などで魚やザリガニなどを食べる。



ゴイサギ

五位鷺 *Nycticorax nycticorax*

大きさ：全長57cmくらいでカラスくらいの大きさ。
首が短く、ずんぐりとした形に見える。

体の色：後頭部と背中が青みがかった黒色。
後頭部の2本のかざり羽は白色。
成鳥になると目が赤くなる。

^{しゅうせい}習性：日本には一年中いる。
川や池、水田などで魚やカエルなどを食べる。



ササゴイ

笹五位 *Butorides striatus*

大きさ：全長52cmくらいでカラスくらいの大きさ。
首が短く、ずんぐりとした形に見える。

体の色：後頭部とかざり羽だけが青みがかった黒色。
他の羽は^{はい}こい灰色。
目の色は黄色。

^{しゅうせい}習性：4～10月ころを日本で過ごし子育てをする夏鳥。
川や池、水田などで魚やカエルなどを食べる。



カエルの仲間

両生綱 カエル目 Anura

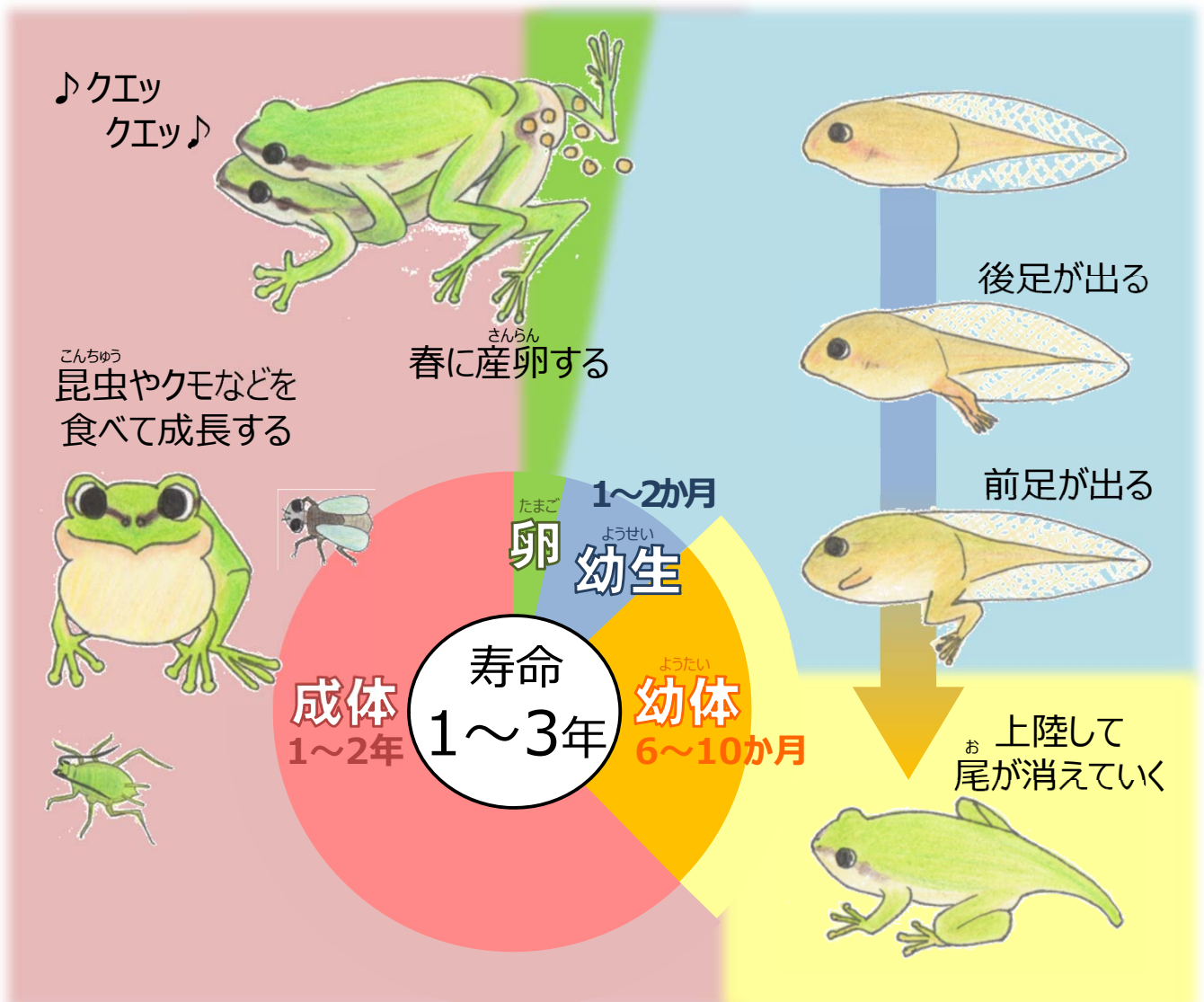
福岡県のカエル

福岡県には、10種の在来^{ざいらい}のカエルが生息しており、そのうち6種は日本にしかない固有種^{こゆうしゆ}です。

近年、水田の乾燥化^{かんそうか}や水路のコンクリート化などによって、生息地が追いやられており、県内の絶滅^{ぜつめつ}のおそれのある生きものの名前が書かれている『福岡県レッドデータブック』では、トノサマガエルやツチガエルなど6種^{けいさい}が掲載されています。



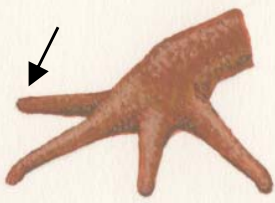
カエルの一生 (ニホンアマガエルの場合)



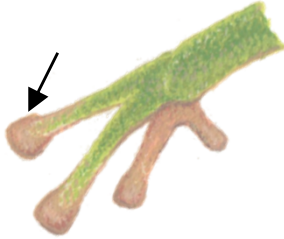
成体の種類しらべスタート! ほうこく (☆は報告対象です)

指の先の形は？

とがる

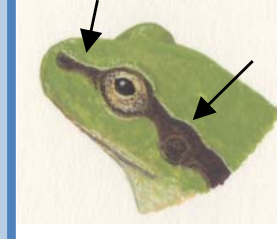


丸い

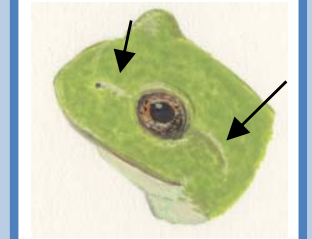


目の前後の色は？

コゲ茶色



緑色

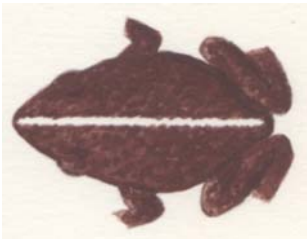


☆ニホン
アマガエル
(20ページへ)

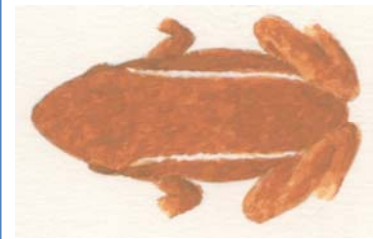
☆シュレーゲル
アオガエル
(20ページへ)

目から尻までの線は？

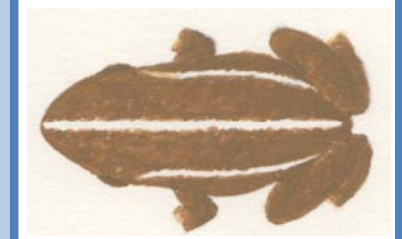
0～1本



2本



3本



●ニホンアカガエル
●ヤマアカガエル
など

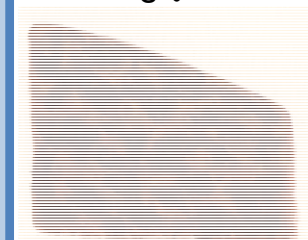
☆トノサマガエル
(20ページへ)

背中にイボイボは？

たくさんある



ない



☆ウシガエル

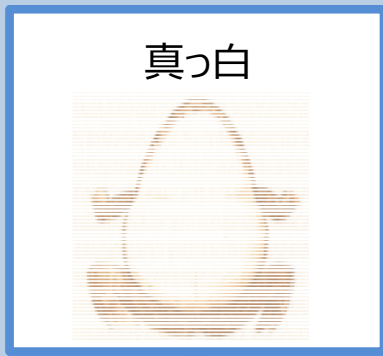
(初級編17ページへ)

*特定外来生物なので、
飼育や移動は禁止されている

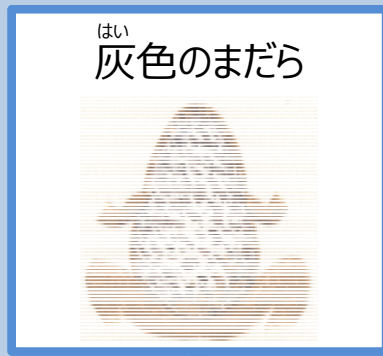
次のページへ

前のページのつづき

はら もよう
腹の模様は？



☆ヌマガエル
(21ページへ)



☆ツチガエル
(21ページへ)

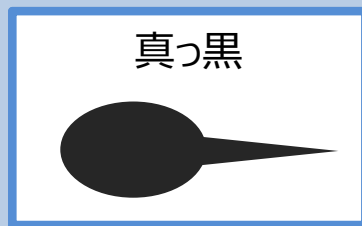


☆ニホンヒキガエル
(21ページへ)

● 幼生(おたまじゃくし)の種類しらべスタート!

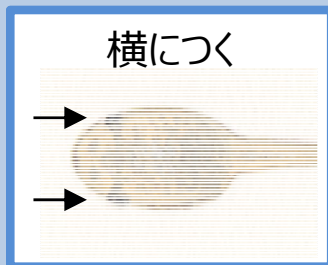
(☆は報告対象です)

体の色は？

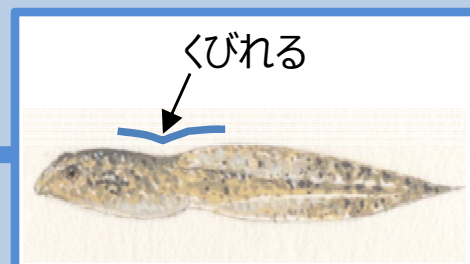
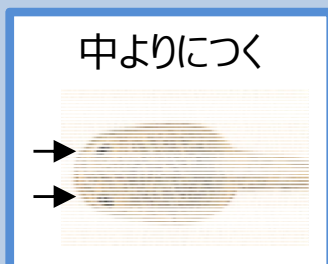


☆ニホンヒキガエル
(21ページへ)
*成長しても体長3.5cm以下
*尾の先が丸い

「目がつく位置 + お 尾のつけ根」の組合せは？



☆ニホン
アマガエル
(20ページへ)

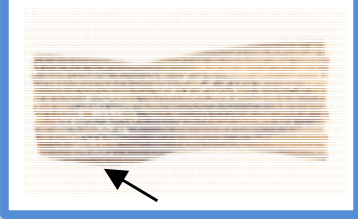


次のページへ

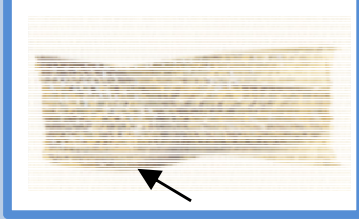
前のページのつづき

ないぞう
内臓はすけて見える？

はい

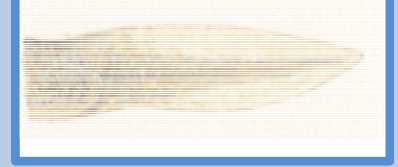


いいえ



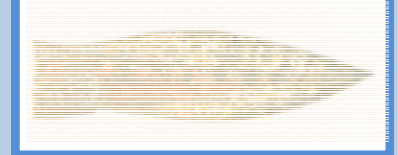
おもよう
尾の様子は？

なし



☆トノサマガエル
(20ページへ)

もよう
まだら模様



☆ツチガエル
☆ヌマガエル
(21ページへ)

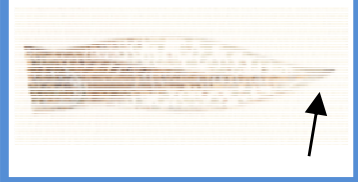
たくさんの黒点



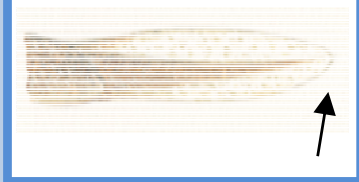
☆ウシガエル
(初級編17ページへ)

お
尾の先の形

とがる



やや丸い



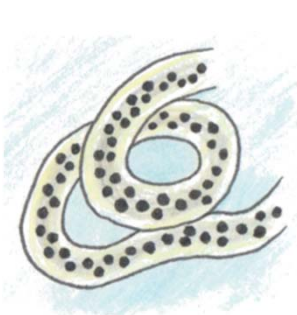
☆シュレーゲル
アオガエル
(20ページへ)

●ニホンアカガエル
●ヤマアカガエル



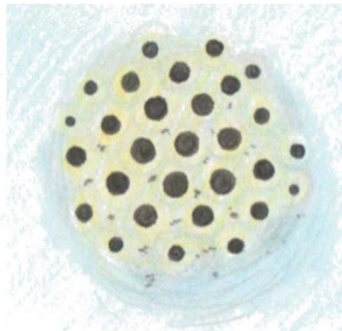
たまご 卵のかたち

じょう
ひも状



ニホンヒキガエル

丸くかたまる



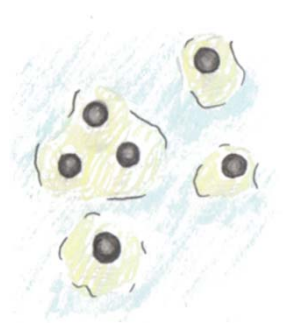
ニホンアカガエル
ヤマアカガエル
トノサマガエル

あわじょう
泡状



シュレーゲルアオガエル

ばらまき型



ニホンアマガエル
ツチガエル・ヌマガエル
ウシガエル

ニホンアマガエル

日本雨蛙 *Hyla japonica*

!有毒!
手を洗おう

成体：全長2～4.5cm。
まわりに合わせて灰^{はい}～緑色に体色を変える。
雨の日にグエツグエツとよく鳴く。

場所：平地の水田やまわりの草地に生息。
草木や壁^{かべ}、ガラスに登るのが得意。

食性：幼体・成体は小さな昆虫^{こんちゆう}やクモなどを食べる。
幼生は動植物の死がい^もや藻を食べる。



シュレーゲルアオガエル

シュレーゲル青蛙 *Rhacophorus schlegelii*

成体：全長3～5.5cm。
あざやかな緑色だが、色を茶色に変えられる。
キラリッ、キラリッと鳴く。

場所：平地～山地の水田や湿地^{しっち さんらん}に産卵。

食性：幼体・成体は小さな昆虫^{こんちゆう}やクモなどを食べる。



トノサマガエル

殿様蛙 *Pelophylax nigromaculatus*

成体：全長5～10cm。
背中は緑～黄色、白い線と黒い模様^{もよう}。
後足の水かきが発達し、泳ぐのが得意。
グルルッ、ゲレレッ^なと鳴く。

場所：平地～低山地の水辺とまわりの草地に生息。

食性：幼体・成体は昆虫^{こんちゆう}やクモなどを食べる。



ニホンヒキガエル

日本蟾蛙 *Bufo japonicus*

!有毒!
手を洗おう

日本固有種
希少種

成体：全長8～18cm。

がっしりした体つきで、背中にイボがある。
クッククックと鳴く。

場所：平地～山地の水田や池などに産卵。
成体は水辺やまわりの草地・森林に生息。

食性：成体は主にミズや昆虫を食べる。



ヌマガエル

沼蛙 *Fejervarya kawamurai*

成体：全長3～5cm。

背中はうす茶色で、イボがたくさんある。
背中に白線が入るものと入らないものがある。
キヤウ、キヤウと鳴く。

場所：平地の水田や小さな水路などに産卵。
成体は水辺やまわりの草地に生息。

食性：幼体・成体は主にクモや昆虫、カエルを食べる。



ツチガエル

土蛙 *Rana rugosa*

成体：全長3～6cm。

背中はうす茶色で、イボがたくさんある。
背中のイボはヌマガエルより大きい。
ギューギューと低い声で鳴く。

場所：平地～低山地の池や沼などに産卵。
成体は水辺やまわりの草地に生息。

食性：幼体・成体はクモや昆虫を食べるが、特にアリが好き。



カマキリの仲間

昆虫綱 カマキリ目 Mantodea

カマキリあれこれ雑学

① カマキリの卵

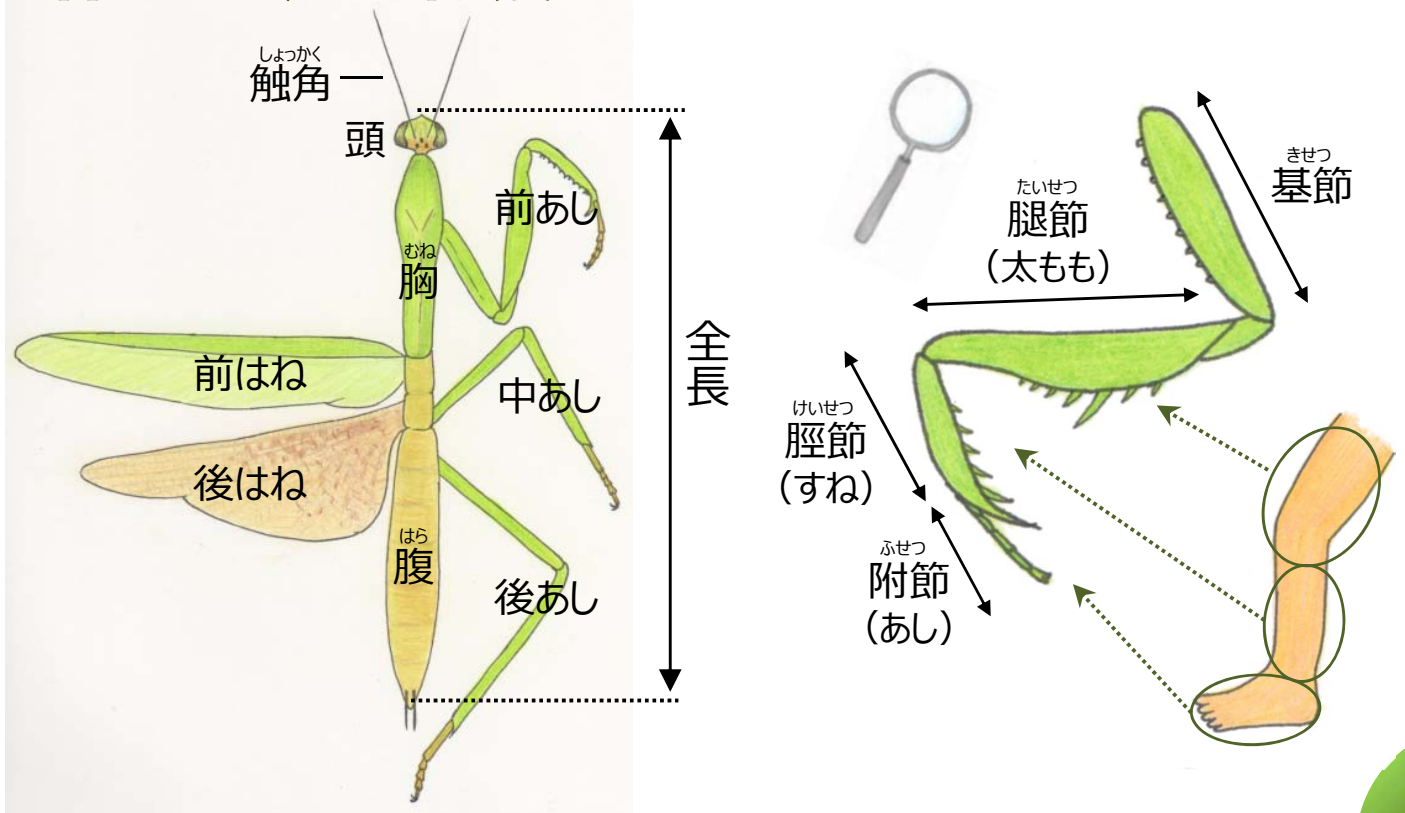
カマキリの仲間は、泡がかたまつた『卵しょう』と言われるかたまりの中に卵を産みます。この泡のかたまりは、温度変化を和らげたり、卵を傷つきにくくする役目があります。カマキリはその年の冬の積雪量を予知して産卵する高さを決めるといふ言い伝えがありますが、迷信です。



② ハリガネムシに洗脳されるカマキリ

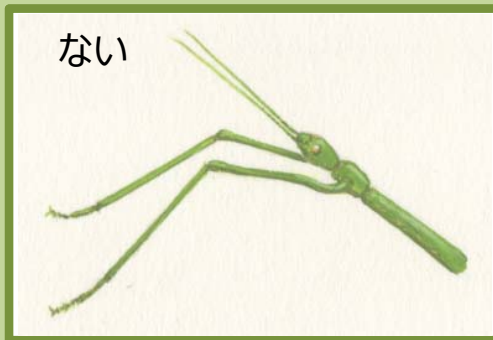
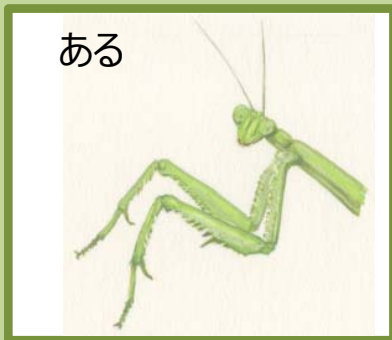
いつもは木の上にいるハラビロカマキリが、地上を歩いていることがあります。この場合、多くの個体がハリガネムシという生きものに寄生されています。カマキリの腹の中で育つたハリガネムシは、水中で卵を産むために、カマキリを洗脳して水辺へ向かうようにコントロールしているのです！

体のつくりを観察してみよう！

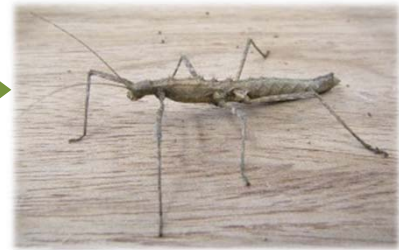


種類しらべスタート! (☆は報告対象です)

前あしにはカマがある?



● ナナフシの仲間



はねはある?



● ヒナカマキリ

*とても珍しい

● 他のカマキリの幼虫ようちゆう

前あしの内側の模様は?



● ウスバカマキリ

*とても珍しい

☆コカマキリ

(25ページへ)

全長は4cmより大きい?



いいえ

● ヒメカマキリ

*とても珍しい

はい

次のページへ

前のページからのつづき

前はねに三角形の白い模様もようはある？

ない



ある



☆ハラビロ
カマキリ
(25ページへ)

「前あしのつけ根の色 + 後はねの色」の組合せは？

はだ色



+

こい茶色



☆オオカマキリ
(24ページへ)

オレンジ色



+

ほとんど透明とうめい



☆チョウセン
カマキリ
(25ページへ)

オオカマキリ

大螳螂 *Tenodera aridifolia*

大きさ：全長7～10cm。

体の色：緑色のものと茶色のものがある。

前あしのつけ根は黄色で、後はねはこい茶色。

習性しゅうせい：森林内りんえんや林縁に生息する。

草や低木の上でよく見られる。

はねが生えた成虫は7～12月に見られる。



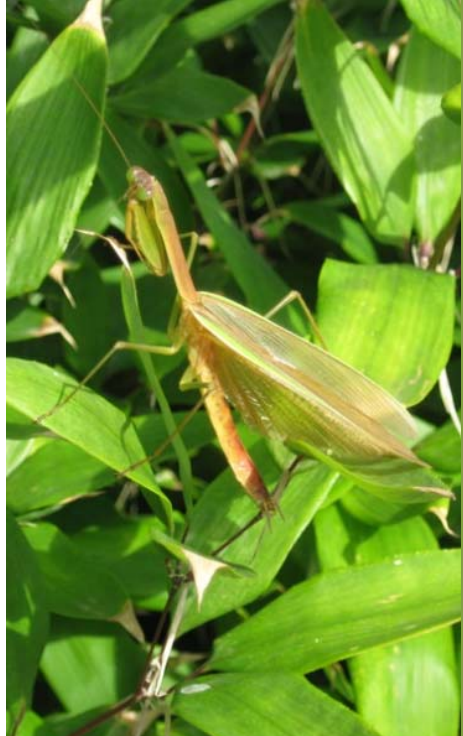
チョウセンカマキリ

朝鮮蟷螂 *Tenodera angustipennis*

大きさ：全長6～9cm。

体の色：緑色のものと茶色のものがある。
前あしのつけ根はオレンジ色。

習性：田畑や庭などの開けた草地に生息する。
草や低木の上でよく見られる。
はねが生えた成虫は7～11月に見られる。



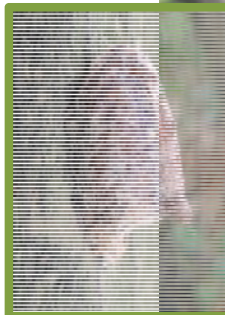
ハラビロカマキリ

腹広蟷螂 *Hierodula patellifera*

大きさ：全長4～7cm。

体の色：緑色のものと茶色のものがある。
前はねに三角形の白い模様もようがはいる。

習性しゅうせい：平地～低山の森林の葉の上に生息する。
はねが生えた成虫は7～12月に見られる。



コカマキリ

小蟷螂 *Statilia maculata*

大きさ：全長4～6cm。

体の色：茶色のものが多く、緑色のものは珍しい。
前あしに白と黒の模様もようがはいる。

習性しゅうせい：平地～山地りんえんの草地や林縁に生息する。
地面や草の上を歩いていることが多い。
はねが生えた成虫は8～11月に見られる。



観察メモ

【生きもの調査に関するご意見、ご質問はこちらまで】

福岡県 環境部 自然環境課 野生生物係



Tel : 092-643-3367 Fax : 092-643-3357

E-mail : shizen@pref.fukuoka.lg.jp

【調査用生きものガイドー中級編：水辺と草地ー】

- 発行年月：平成28年6月
- 発行：福岡県環境部自然環境課
- 編集：福岡県保健環境研究所環境科学部環境生物課
- 協力：永松愛子（種類しらべのイラスト）
- 写真提供：田村耕作・熊谷信孝